

## 「MM 教育は絶対に効いてくる」

川西市都市整備部まちづくり推進室都市政策課 中津留 幸紀

川西市内でのMMは、平成 14 年からパイロット的に実施されました。その後、平成 18 年からは、大阪大学大学院 松村暢彦先生の総合プロデュースにより「相手の気持ちになって自分はどのようなことができるか」「次世代を担う子供たちに、まちづくりについてしっかり考えてほしい」という思いで、大学・公共交通事業者・兵庫県等が連携し、各学年に応じたMM教育に取り組んでおります。

平成 21 年までのMM教育は、数か月間実施し、子供たちの成果は、地域の方々をお迎えして発表会を行い、成果を駅構内・バス車内・商店等にも掲示し、地域に発信ができました。そして卒業時には、松村先生からメッセージが贈られ、子供たちや保護者のこころに残るMM教育で巣立っていかれました。

一方、能勢電鉄(株)、阪急バス(株)の協力で実践しておりますMM教育は、公共交通と共に発展した川西市に住む子供たちに、より一層環境意識や公共心を高め、公共交通の利用促進にも繋がっております。

しかし、ゆとり教育が見直され、長期的にもMM教育が実践できる環境に変化が現れてきました。そこで、平成 22 年からは、教職員研修で、MM教育に取り組みました。この研修によって学校で実施できたMM教育の回数は、平成 22 年 4 回・平成 23 年 8 回・平成 24 年 8 回と芽生え、アンケートでも 87%の教諭から「MM教育を実施したい」と高い評価を得ております。

現在、小学校の教科書には、フードマイレージ等が掲載されており、MM教育はさらに広がる可能性を秘めていると思われまます。また、保護者及び地域に対しても、環境・交通・地域活性化・まちづくり等の「気づき」の発信になると思ひます。

今後も松村先生のご協力により、夢の実現のために「MM教育は絶対に効いてくる」と念じながら公僕として、こころに残る持続可能なMM教育を実践していきたいと考えております。